

国のまち・ひと・しごと創生基本方針 2019 を踏まえた県の対応について

項目	国の「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」 (第2期総合戦略の基本方針)	県の次期ふるさと振興総合戦略における対応
人口ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・国の長期ビジョンは時点修正 ・地方人口ビジョンは、中長期的には自然増が重要である点を重視しつつ、最新の数値等に見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・時点修正による改訂とする <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【現行の岩手県人口ビジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超長期的な人口増の可能性も視野に入れた人口の定常状態(80万人程度)を目指し、2040年に100万人程度の人口を確保 </div>
基本目標	<p>【4つの基本目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの基本目標は維持しつつ、新たに下線部が追加 ・施策の効果が十分に発現していない2、3については取組を強化 <ol style="list-style-type: none"> 1 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする、<u>これを支える人材を育て活かす</u> 2 地方への新しいひとの流れをつくる 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、<u>誰もが活躍できる地域社会をつくる</u> 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の「岩手で働く」「岩手で育てる」「岩手で暮らす」の3本の柱に、国の新たな視点の1つである関係人口の創出・拡大等を踏まえ、新たに4本目の柱として「岩手とつながる」を追加 ・新たに追加された下線部については、既存の戦略に取組を追加
各戦略	【第2期における新たな視点】	
	①関係人口の創出・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな4本目の柱である「岩手とつながる」に、関係人口に係る戦略を追加
	②Society5.0の実現に向けた技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略全体に関わることから、「ふるさと振興を進める上で重視する視点」に整理 ・加えて、県民計画のILC+3ゾーンプロジェクトを主体とした新たな4つの分野横断戦略を中心に具体的取組を記載
	③SDGsを原動力とした地方創生	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略全体に関わることから、「ふるさと振興を進める上で重視する視点」にSDGsの理念等を記載 ・加えて、各戦略及び取組に17の持続可能な開発目標を紐付け
	④地方創生の基盤をなす人材の掘り起こし、育成	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の「ふるさとの未来を担う人づくり戦略」の取組として追加
	⑤民間との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略全体に関わることから、「総合戦略の推進と市町村等との協働」に「多様な主体の参画・協働の推進」の項目を追加し記載
	⑥誰もが活躍できる地域社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略全体に関わることから、上記③のSDGsの理念等と併せて記載 ・具体の取組については、既存の「若者・女性活躍支援戦略」における取組に加え、「保健・医療・福祉充実戦略」に高齢者、障がい者の活躍支援の取組を追加
⑦地域経営の視点で取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略全体に関わることから、「ふるさと振興を進める上で重視する視点」として整理 	
戦略期間	令和2年度～令和6年度の5年間	令和2年度～令和6年度の5年間 ※いわて県民計画(2019～2028)第1期AP 令和元年度～令和4年度